

厳しい財政状況の中 各種経費の削減や行財政改革を実施

6月定例町議会(町長事務報告)

6月6日から15日まで6月定例町議会が開催されました。提出議案は、専決処分承認を求めるとして1案件、条例の一部改正について1案件、条例の新規制定について1案件ほか、計6議案で、すべて原案のとおり可決されました。

財政 平成16年度の執行率は95.2%

平成16年度会計は、昨年度からの繰越分と借換え債を含め、決算規模は普通会計ペー1スで127億円前後となる見込みです。

歳出予算の執行率は95.2%程度と見込まれ、歳入・歳出の差引から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支は、3億3千万円程度を見込んでいます。

国保 厳しい国保運営による条例改正

医療給付費は、高齢化や疾病構造の多様化、医療技術の高度化等により年々増加しており、国保運営が大変厳しい状況であることから、今議会に条例改正の提案をしました。

画策 国勢調査実施本部を企画設置

第4次総合計画は、平成18年度から平成22年度までの後期5カ年実施計画の策定に取り組んでいるところです。

また、行政需要が多種多様化する中で、効率的な行財政運営を進めるとともに、住民本位の計画とするため、施策に対する満足度、重要度を把握するアンケート調査を実施しています。

国勢調査については、本年

道路 ガードレールの金属片を回収

10月1日を基準日として実施されます。町では、国、県、指導員、調査員と連携を強化するため、国勢調査大網白里町実施本部を設置し、正確かつ円滑な調査の実施に努力していきます。

新聞等で取り上げられているガードレールの金属片等について、6月3日に調査を行いました。



▲町内でも54個の金属片を確認

工光 11軒の海の家が撤去

海の家撤去の問題については、白里中央海水浴場では和解をされた方々を中心に、11軒の撤去が5月末までに行われました。

このことを受け、海岸の駐



▲撤去が進む白里海岸の海の家

車場については、県の指導に基づき、町が主体となつて有料化による管理運営を行う計画となつており、暫定的な整備に着手したところです。

海開き式も7月15日に開催される運びとなり、8月下旬まで3カ所に海水浴場を開設します。この期間中には、夏期観光安全対策本部を設置し、万全を期していきます。

恒例の「なつまつり」は、なつまつり実行委員会が「より一層楽しく、また、地域に根ざした祭」となるよう検討を重ねています。

雇用・労政等の施策や中小企業支援の施策情報については、より広くかつ集中的に住民に周知していきます。

高齢者福祉については、高齢者に外出の機会を与え、元気高齢者の自主的活動を支援する「高齢者バス利用助成事業」と認知症高齢者や家族が住み慣れた地域で継続して生活できるように支援する「認知症にやさしい地域づくりネットワーク形成事業」を実施していきます。

生活環境 ごみゼロ運動に約9千人が参加

ごみゼロ運動では、町内各区、自治会から約9千人の参加協力により、10トンの空き缶などを回収することができました。また、清掃活動を自主的に行っているボランティア団体により、定期的に活動を行い、環境美化にご協力をいただいています。

金谷郷仙間地先における土砂等の埋立事業計画については、許可申請の審査が進められていましたが、県条例に規定している書類に不備があり、平成17年3月28日付けで却下した旨、県から通知がありました。

友好の翼事業については、教科書問題や竹島問題から、交流先のジャヤン中学校の意向と社会情勢を勘案し、韓国への派遣は中止しました。

なお、全生徒を対象にアンケート調査を行ったところ、多くの生徒が実施を希望しており、最も希望の多かったシナガポールを訪問国として検討を進めています。

平成10年度から「朝の読書」に取り組んでおり、本年度、増穂小学校が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰

を受賞しました。今後も、町内全校が受賞することを目標として学校教育の充実と推進を図っていきます。

昨年度に引き続き、水泳教室を全小学校で予定しており、専門インストラクターによる実践的な指導を通して、安全への意識高揚と泳力の向上を期待しています。



▲初めて行われた子ども議会(平成15年12月)

スポーツ振興 各棟の基礎工事が終了

(仮称)大網白里町民体育館建設工事の進捗状況については、各棟の基礎工事はすでに終了し、メインアリーナの1階部分における躯体工事を行っている状況です。今後は、武道場・サブアリーナ・トレーニング室と順次進めていく計画です。

また、並行して、管理運営検討委員会を開催し、町民体育館の運営に関する維持管理および使用料金の設定方法について、協議していきます。

増穂小学校が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰

保健師だより

生活習慣病を予防したいと思っている方へ ～個別健康教育でお手伝いします～

日本では、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病など、生活習慣病といわれる病気が、死因の6割以上を占めています。

しかし、生活習慣病の多くは、早期にはこれといった自覚症状がないため、病気の芽ができていても健診を受けなければ見つからないことがほとんどです。

生活習慣病と関係が深いのは、「食習慣」、「運動習慣」、「休養」、「喫煙」、「飲酒」の5つで、これらひとつひとつの生活習慣に気を配ることが大切です。

町では平成13年度より、食事や運動などの生活習慣を改善して生活習慣病を予防する目的で、生活習慣を見直したい方に対し、「高脂血症」「糖尿病予防」のための個別健康教育を実施しています。

対象となる方は、40歳以上で基本健診や人間ドッグで高脂血症、血糖値について治療はまだ必要ではないものの、数値がやや高く「要指導」と判定された方です。

個別健康教育の期間は、平成17年9月から平成18年3月までの6カ月間で、内容は次のとおりです。

内容	回数	場所
調査	1回	保健センター
面接	4回	保健センター
採血	4回	大網病院
運動指導	4回	保健センター

※費用は無料

個別健康教育を希望される方は、平成16・17年度の2年分の健診結果を用意の上、健康福祉課までご相談ください。6カ月間参加できる方を募集します。

栄養士や保健師が、日ごろの食生活や運動などの習慣と健診の結果を合わせて、あなたに最も適したプランを作成します。この機会に生活習慣を見直しましょう。

健康福祉課健康指導係 ☎(72)832

栄養士だより 40



生活習慣病予防⑥ 痛風予防の食事

痛風とは、血液中の尿酸濃度が異常に増え、足のつけ根に強い痛みを感じる関節炎が起きたり、腎臓が悪くなったりする病気です。

痛みを感じる数年前から尿酸値が高くなるという前兆が出てきます。健康診断などで尿酸値が高いといわれたら、食生活では次のようなことに気を付けましょう。

①肥満を解消する

太った人ほど、尿酸値が高い傾向があります。減量することで、尿酸値が下がることが期待できますので、標準体重〔身長(m)×身長(m)×22〕に近づけましょう。

食べ過ぎ、運動不足に注意しましょう。

②飲酒を控える

アルコールをとりすぎると、尿酸値が高くなりやすいので、禁酒が理想ですが、飲む場合は

量に気を付けましょう。

種類は、尿酸値を高めるビールよりも日本酒やワイン、ウイスキーなどがよいとされていますが、飲み過ぎれば同じですから、いずれにしても注意しましょう。

③野菜や海藻、水分をしっかり取る

尿酸が尿に溶けやすくなるとともに、尿量を増やして、体外に尿酸が出やすくなりますので、不足しないようにしましょう。水分はこまめにとるようにしてみましょう。

食事のほかには、ストレスや激しい筋運動(過剰な筋トレニング)などが要因になることもあるため、ストレス発散や軽い有酸素運動(ウォーキング等)を心掛け、痛風を予防しましょう。